

とにかく錆びない「新和ZiNT」を開発 取組を発信し続けることでさらなる成長

同社は、昭和36年創業以来、新潟県上越地域を中心にめっき加工を行っている。

近年は経営改革に着手、「挑戦しなければ小さな会社は成り立たない」とし、様々な新規事業を立ち上げ、売上を伸ばしてきた。鉄を錆から守るめっきとしては最高品質の新製品「新和ZiNT®」の開発や、「金めっきプロセスの高付加価値化」、めっき業界初の「英語事業部の立ち上げ」を行った。また広報活動にも注力し、挑戦している内容を広く発信することで企業価値の向上と人材確保に努めている

●所在地 新潟県上越市大字土橋1631

●電話/FAX 025-524-5426/025-524-5498

●URL <http://www.sinwa-mekki.com/>

●代表者 代表取締役 瀧見 直人

●設立 1961年

●資本金 1,000万円

●従業員数 19人



とにかく錆びない「新和ZiNT」を米国大手企業と共同開発

同社の所在する日本海地域特有の海風による鉄の腐食や、降雪による塩害に困っている地元顧客の声を聞き、折から立ち上げた英語事業部の卓越した語学力を生かし、米国大手メーカーと共同で独自の表面処理「新和ZiNT®」を開発した。

従来のめっきと比較し20倍以上の耐食性能を有し、地元機械メーカーと新たな製品づくりを行うだけでなく、航空機・自動車産業等様々な分野に活用されている。多数の展示会に出展、鉄が錆びないめっきとして注目されており、新たな市場を獲得している。



とにかく錆びない「新和ZiNT」

金めっきにおける金使用量削減を目指した様々な研究開発

従来より金めっきを行っていたが、近年の金価格の上昇に対応し、更に高付加価値化を目指し、金の使用量を約62%削減できる部分金めっきプロセスを開発した。

また2017年より長岡技術科学大学と連携し、シミュレーションソフトを用いた電流分布解析による金めっき膜厚の制御にも取り組み、2018年の表面処理学会で発表された。この技術は必要な部分に必要なだけめっきするため、金めっき量を大幅に減らすことが可能となる。



電子部品向け金めっき専用工場

めっき工場の新事業「英語事業部」で上越から世界へ

同社は2016年英語事業部を立ち上げ、地元の製造業・観光業・飲食業等の英語でのコミュニケーションをサポートする新サービス「ワールドワイド上越」を開始し、卓越した英語能力と地元ならではの翻訳で多くの顧客を獲得している。また本業のめっき事業でも英語事業部を活用し、町工場の技術と米国のめっき技術を融合した「新和ZiNT」を開発した他、めっき専門用語の英語での理解力を活かし、事業提供している米国大手めっき薬品メーカーの日本向け資料の翻訳等を担っている。



海外からの顧客と英語での打合せ